

## ★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 村田英一 副委員長 田野 哲・眞田幸俊・福田英輔

幹事 旦代智哉・須山 聡 幹事補佐 山本哲矢・西村寿彦・石原浩一・村岡一志・衣斐信介

◎本研究会は平成 29 年度において参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

[http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e\\_gihou2017/e\\_gihou2017\\_index.html](http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html)

日時 4月24日(月) 9:30~21:20

25日(火) 9:00~16:35

会場 ことひら温泉琴参閣9階王朝(仲多度郡琴平町685-11。JR琴平駅より徒歩5分、高松琴平電鉄琴平駅より徒歩3分。高松空港~琴平琴空バスで約50分。 <http://www.kotosankaku.jp/access/> TEL [0877] 75-1000(会場) 三木信彦(香川大)

議題 鉄道、車々間・路車間通信、無線アクセス技術、一般

24日午前

1. エッジコンピューティングにおけるモビリティ管理方式の一検討  
○吉田雅裕・中田亮太・森 航哉・荒川 豊・高橋紀之・田中裕之(NTT)
2. 有相関MIMO通信路におけるPDAのための適応スケールビリーフに関する一検討  
○高橋拓海・衣斐信介・三瓶政一(阪大)
3. 大規模MIMO繰り返し信号検出のための非直交パイロット系列による伝搬路推定に関する一検討  
○衣斐信介・三瓶政一(阪大)
4. プロポーショナルフェアネス規範に基づく干渉制御法におけるマルチパスフェージング環境の特性評価  
○金平勇作・三木信彦(香川大)
5. 多数デバイスを収容する携帯電話網に関する高効率通信方式—逐次型干渉抑圧・除去とマルチユーザ検出型干渉抑圧・除去に関する検討—  
○森山雅文・滝沢賢一・手塚隼人・大堂雅之・表 昌佑・石津健太郎・村上 誉・児島史秀(NICT)
6. Polar符号におけるPuncturingとShorteningを用いた特性評価  
○杉本 琢(香川大)・須山 聡・永田 聡(NTTドコモ)・三木信彦(香川大)
7. ターボ符号化による電波暗号化多数接続machine type communications手法の性能改善の検討  
○岡本英二・堀池直登(名工大)・山本哲矢(パナソニック)

24日午後 特集セッション1「輸送機器(自動車・鉄道・航空機)での無線通信利用の現状と将来像」(13:35~)

8. [依頼講演] LTE V2Xとコネクテッドカーサービス実現に向けた取り組み状況  
○安川真平・工藤理一・小原辰徳・丸小倫己・永田 聡・中村武宏(NTTドコモ)
9. [依頼講演] 鉄道運行用無線通信システムの現状と今後の展望 川崎邦弘(鉄道総研)
10. [依頼講演] W帯を利用した次世代列車無線システムの検討と国際標準化動向—RoFとミリ波を用いた新しい電波システム—  
○柴垣信彦・佐藤洋介・石川恭介・加島健一(日立国際)

特集セッション2「輸送機器(自動車・鉄道・航空機)での無線通信利用の現状と将来像」

11. [依頼講演] TBD TBD(TBD)
12. [依頼講演] 航空用通信システムの現状 住谷泰人(電子航法研)

招待講演1

13. [招待講演] 高信頼な合意形成制御のための無線設計 石井光治(香川大)

◎夕食(讃水館2階 讃岐の間)

特集セッション3「輸送機器(自動車・鉄道・航空機)での無線通信利用の現状と将来像」(讃水館2階 牡丹の間)  
(20:00~)

14. [招待講演] 輸送機械用電力線通信(PLC)の研究動向とSmart EMC 都築伸二(愛媛大)
15. ワークショップディスカッション

25日午前

1. SDNの広域無線通信網への展開の検討 吉野長浩・○小熊 博(富山高専)・亀田 卓・末松憲治(東北大)
2. 無線共存ネットワークのための再送付き受信機駆動型MACプロトコルの性能解析  
○田邊 稜・石橋功至(電通大)・川田拓也・相澤礼奈(東京ガス)
3. 複数ベースステーション協調を用いたフレームレスALOHAにおけるパケット損失確率の一般化解析について  
○尾形 駿・石橋功至(電通大)
4. パケット共有を考慮した路車間通信のための省電力分散ランダムスリープ方式 ○後藤勇輝・石橋功至(電通大)
5. 市街地環境における棲分け型協調中継アシスト車間通信システム ○レ ティエン チエン・山尾 泰(電通大)
6. 位置情報を用いた異種無線融合システムのネットワーク選択手法:トラヒックナビゲーションにおけるユーザ満足

度の評価 劉 沁寒・秋元浩平・○亀田 卓・末松憲治（東北大）

7. 都市部における 28 GHz 帯超広帯域 Massive MIMO 屋外伝送実験

○佐藤 圭・宮崎寛之・増野 淳・須山 聡・井上祐樹・奥村幸彦（NTT ドコモ）

25 日午後（13：05～）

8. 基地局位置と端末移動方向を考慮した 5G 多層セル環境における接続セル切替方式に関する検討

○岸田 朗・森広芳文・浅井孝浩・奥村幸彦（NTT ドコモ）

9. 5G 実現に向けた低 SHF 帯超多素子アンテナによる端末送信電力低減効果

○増野 淳・奥山達樹・須山 聡・奥村幸彦（NTT ドコモ）

10. 5G 超高密度分散アンテナシステムにおける大容量化技術の実験的検証—広帯域協調マルチユーザ MIMO 伝送の低 SHF/高 SHF 帯における伝送特性比較—

○筒井正文・伊達木 隆・関 宏之・箕輪守彦（富士通）・秋山千代志・椎崎耕太郎（富士通研）・奥山達樹・増野 淳・須山 聡・奥村幸彦（NTT ドコモ）

11. 5G 低 SHF 帯 Massive MIMO における屋外伝搬実験結果を用いたデジタルビームフォーミングの特性評価

○奥山達樹（NTT ドコモ）・山崎健一郎・野勢大輔（NEC）・須山 聡・増野 淳・吉岡翔平（NTT ドコモ）・丸田 靖（NEC）・奥村幸彦（NTT ドコモ）

12. イメージセンサ可視光通信における送受信機間同期手法の一検討

市川 寿・佐藤 翔・○岡田 啓（名大）・和田忠浩（静岡大）・小林健太郎・片山正昭（名大）

13. Evaluating the Sub-GHz LoRa Receiver Performance under Synchronized Packet Collisions

○Chun-Hao Liao・Makoto Suzuki・Hiroyuki Morikawa（Univ. of Tokyo）

14. ビームフォーミングを用いた Gibbs サンプリング MIMO 受信機 眞田幸俊（慶大）

15. マルチユーザ大規模 MIMO システムにおけるアンテナ選択による簡易ビーム形成に関する検討

○井上航一・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝（北大）

◎24 日は、夕食後にナイトセッションを企画しています。その後に、懇親会を予定しています。是非御参加下さい。

◎琴参閣の宿泊は、幹事団で取りまとめます。詳細は追って御連絡致します。

☆RCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

5 月 11 日（木）、12 日（金） 機械振興会館 [締切済] テーマ：アドホック・センサネットワーク・MANET, モバイルネットワーク, M2M・IoT 通信制御, 無線 LAN (Wi-Fi), IEEE802.15 (ZigBee) 及び一般

6 月 21 日（水）～23 日（金） 石垣商工会館 [4 月 10 日（月）] テーマ：初めての研究会, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7 月 19 日（水）～21 日（金） 北大 [未定] テーマ：無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合せ先】**

旦代智哉（東芝）

E-mail : rcs\_ac-entry@mail.ieice.org